

# 特集

## 白根市の下水道は 現在どうなっているの？

# 広報 しろね

11.1  
2001 No.603



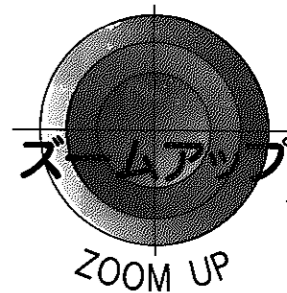
### CONTENTS (もくじ)

- 白根市の下水道..... 2~5
- 市政クリップ..... 6
- しろね学習館まつり
- 芸能発表プログラム..... 7
- まちの話題..... 8、9
- お知らせ..... 10~13
- みんなのページ..... 14
- ズームアップ..... 16
- 表紙 白根市小学校親善陸上大会(9月26日)

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。



▶霧ノ木水門周辺の自然を観察する井部さんと講座生の皆さん(第一回「ふるさと自然探訪」)



## 手づくりの大学を開校



井部和夫さん

今年の四月、市民有志の手づくりによる大学「しろね市民大学」が開校しました。この大学の設立発起人で、講座「ふるさと自然探訪」の講師を務める井部和夫さん(七十三歳・砂押)は、呼び掛けで集まった十人の仲間と一緒に、六カ月の準備期間を経て大学を立ち上げました。

井部さんは「中央公民館長を八年間務めたとき、こんな講座をつくりたいなと思って、なかなか事業を増やせませんでした。学習は自分が好きなものを、自分のためにやるもの。だから、自分たちで学習の場をつくりました」と話します。

今年度は、古典講座やパソコン講座をはじめ十三の講座を開設し、二百人を超える講座生が集まりました。「講座生の大半は五、六十代の女性です。三十代前後の若い人たちが受講しやすいよう、どんなことを学びたいか要望も聞き入れていきたい。また、学校週五日制に伴い、児童の休みの過ごし方についても考え、小学生を対象にした講座開設ができるのかどうか、検討する必要がありますね」と、これからの運営に向けた課題について話してくれました。

## 小川 凧 (熊本県小川町)

### あなたも凧博士

凧の収集に熱を上げてた時期がありました。一九七〇年代後半でした。東京の赤坂や新宿の民芸品店から「入荷した」という情報が入ります。早速上京して、凧を集めたものです。

小川凧も、こんなつてから手に入れることができました。十字形の骨組みの平凡な凧です。

郷土がん具研究家の俵有作さんは、凧を形態の面から、三つの系譜に分けています。複雑な形の細工凧は大陸系。縦横が一本づつ、十字形の骨組みの凧は南方系です。インドをはじめ、世界の各地に分布しています。角凧や六角、奴凧は本土系です。

### 文・田村和雄

(しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長)



館のオープン前に小川町へ行き、凧師の竹内兼吉さんを訪ねました。病に冒されて、凧作りは中止してしまいました。後を継ぐものはなく、小川凧は絶えませんでした。

郷土色豊かな凧でした。そして素朴で力強い絵でしたのに、残念です。

### ▶数字で見る市勢

※10月1日現在 ※( )内は前月比

人口	40,792人(-20人)
男	19,982人(-16人)
女	20,810人(-4人)
世帯	11,226戸(+3戸)
出生	21人
死亡	20人
転入	59人
転出	77人

9月中

### 編集ルーム

◎毎号広報の最終ページにこの編集ルームがありますが、何を書こうかと、いつも頭を悩ませています。◎ついには、あまりにも書くこと(ネタ)がなく、前号は(ま)に担当を変わってもらいました(2回連続(ま)だったのはこのため)。しかし猶予をもらったにもかかわらず、また悩み出すこの始末。「う〜ん」と考えているうちにネタが見つかりました。内容は上記のとおりです。(た)